

土佐希望の家通信

<発行>重症心身障害児(者)施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133/
http://www.i-kochi.or.jp/hp/tosakibo/ Email:tosakibo@i-kochi.or.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 中屋 淳

HAPPYLIFE

家族の窓
矢野浩一さん
(1病棟こすもす)



今年も庭の梅にかわいい花を咲かせました。浩一、成人のお祝いに植えたしだれ梅で四回目の春となりました。ゆつくりゆつくりの成長ですが、おすわりが出来、ひとり歩きが出来、今では長く広い廊下を北京オリンピック目指して自主的に動いている毎日です。

すみれ病棟で生活している頃は甘えん坊浩一だったのですが、最近「浩一さんは親離れをしているんだから、お母さんも子離れをしちゃらんといかんよ」と言われ、全く関係無いと思っていた言葉だけに「親離れ・子離れ」は嬉しいというよりも淋しさが大きく、年月の経過を実感し、ただ今葛藤中の母です。

浩一の姉も妹も社会人となって県外で生活しているので、家に帰っても随分と淋しくなりましたが、古い車(フレリユード)に乗って帰ろうね。

帰るとソファで「コロコロ」したり、お風呂にゆったりとつかのめるのが気に入ります。少々若者らしくない行動になっけてしましますが、おいしい物好きな落ち着いた男性と思ってこれからもお付き合いをよろしくお願いします。

矢野幸子

ボランティア紹介④

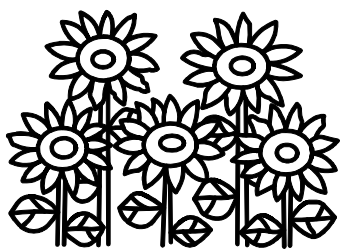
高知農業高校様



天気の良い日は日光浴！

高知農業高校の皆さんから、ベンチを寄贈していただきました。天気の良い日はみんなで座つてのんびり日光浴をしています。その他にも玄関にパンジーのプランターをたくさんいただきました。

また、毎年たくさんのお客様さんが施設にボランティアに来てくれます。今年は2月に病棟の窓拭きボランティアをしていただきました。いつもありがとうございます。



施設長就任御挨拶

施設長

江口 壽榮夫先生



平成二十年四月より施設長になりました。私は昭和三十九年から高知県の肢体不自由児の療育(小児リハビリテーション)に、高知県立子鹿園という肢体不自由児施設で携わってきていました。昭和四十五年に「土佐希望の家」が設立される前と、その後の障害児・者の経緯を体験してきましたので、入所者とその家族の多くの方は知った方です。私にとっては、長くて四十年来の障害児のその後の状態について診ることができて、勉強にもなっています。

重症心身障害児を支える医学の進歩と医療体制の整備は未だ十分とはいえません。障害児・者は、一般社会の寿命に比べると短いですが、明らかに延びてきています(総合リハビリテーション、三十巻、四号、P三六九―三七二、医学書院)。その姿に接していると、これからの重症心身障害児(者)施設は、更に充実した医療を基盤とした健康保持と同時に、彼らが、生かされているのではなく、生きているという実感がもてるよう、個々人の人生を歩めるように配慮した施設運営が必要だと思います。私の専門が「リハビリテーション科」ですの

私の仕事(2)

2病棟療育サブリーダー

中西純



2病棟の療育は、西棟に詰所があり、そこで、その日のスケジュールを確認し、東棟へ1名が出向という形で入っています。東西共に、昔の様な朝の会という集いはありませんが、ホールに集まって、モーニングケアをする事から利用者さんへの関わりが始まります。

その関わりは、職種によって異なる事は当然ですが、関わり方は、和顔愛語が基本だと思います。誰だって、優しい声かけには、笑顔で答えてくれるように、利用者さん、その様な声かけをいつも待っているように思います。

でも、西棟に居られる前野さんは、時々怒った口調で、『飯、食わん!』と言って職員を困らせたりされます。でも、そんな前野さんも、夜勤明けのバイタルチェックに訪床した看護師さんに、『眠たいかよ?』とやさしく言ってくれてくれたと聴きました。そこには心を通わせ、魂をぶつけ合いながらの生活があり、その中で職員を見ているんだなあと思いました。

2病棟には、四十六名の方が医療を基本に生活されています。少しでも関わりを多く持ち、生活にメリハリをもたせてあげる。それが私の仕事だと思います。

で、そのような考え方になるのかもしれませんが、賛同される方々の御援助、ご協力を呉々もお願いします。

國富先生二年間ありがとうございました これからも応援お願いします!



みなさんで見送りました!



佐藤さんの夢がかないました!

夢プロジェクト



安芸球場で記念撮影 ☆ピース☆

二月二十一日、ひまわりの佐藤誠さん、あざみの江口勝典さん、下司正幸さんが安芸市の安芸球場で阪神タイガースの藤川球児投手と交流しました。

これは、高知県社会福祉協議会の「障害者の夢実現プロジェクト」の一環で、佐藤さんの「野球選手と交流したい」という夢がかなえられたものです。休憩時間に安芸ドーム内で交流、サインもたくさんいただきました。

藤川投手からは昨年、希望の家に車いすを五台寄贈いただきました。藤川投手は「応援ありがとうございます、これからも頑張ります」と笑顔で答え、みんなで記念写真を撮りました。その後、みんなでタイガースの紅白戦を観戦して帰りました。

「」厚意

三月〜五月

【寄付金・寄付物品】

大成サービス(株) 四国支社様 (株) 四国東通様 高知競輪場取締役様 高知競輪競馬場内保安労働組合様 原野義朗様 井上出版印刷社様 大阪日刊スポーツ新聞社様 高知放送様 (株) サンコール様 (株) 三宮印刷様 (有) 城南広放様 (有) 福ちゃん出版社様 中四国デイトリースポーツ社高知支社様 高知競輪競馬労働組合様 高知競輪場内食堂売店組合様 高知競輪競馬報道協会様 日本自転車競技会中四国支部様 サンケイスポーツ様 (株) 四国毎日広告社高知支社様 高知市商工観光部公営事業課様 日本トーター様 高知広告センター様 南国地区整備振興会様 中出和夫様 福原千江様 西原育子様 西岡愛子様 坂田二子様 楠瀬昌子様 鈴江富恵様 南国市商工会青年部様 甲藤健三様 宮崎みどり様 島崎博子様 二十四時間テレビチャリティー委員会様

【ボランティア】

島崎音楽教室様 原音楽教室様 ウイズ音楽ボランティア様

ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします

☆ 編集後記 ☆

「土佐希望の家通信(カラー)」になって一年経ちました。Photoshopという画像加工ソフトを使い始めましたが、ほとんど使いこなせておりません(∇△) 誰か教えて!

平成20年度 事業計画 （重点目

1 全体

- ① 医師、看護師、薬剤師などの人材の確保に努め、施設運営の安定化を図る。
- ② 「土佐希望の家の理念」と「私たちの行動指針」を徹底し、利用者に良質な医療と豊かな暮らしを提供する。
- ③ 重症心身障害児施設の役割について理解を深めるとともに、各専門領域における技術や知識の向上を図るため、積極的に研修に取り組む。
- ④ 与薬、骨折等の事故の減少と、院内感染の防止に努める。
- ⑤ 保護者とのコミュニケーションを密にする。
- ⑥ 腰痛対策など、職員の健康管理に努める。
- ⑦ 福祉サービス第三者評価事業を受審する。

2 事務部

- ① 福祉や医療の制度改正に留意し、施設の将来像について検討を進める。
- ② サービスを充実し、経営を安定するとともに、不測の事態にも耐え得る経営体質をつくるため、人材の育成、働きがいのある職場づくり、組織体制の確立、収支の改善等の取組を進める。
- ③ 業務の効率化、迅速化、適正化に努める。

3 医局

- ① 医師の確保に努め、安定した医局体制をつくる。
- ② 超重症児（者）（人工呼吸器を使用している者など）の受け入れを進める。

4 医務部

- (1) リハビリ
 - ① 外来者も含めたサービスの充実に努めるとともに、収支の改善を図る。
 - ② 重症児リハに関する研修、学習に取り組むとともに、他職種との連携を強化し、利用者の医療・生活の改善に努める。
- (2) 検査
 - 検査値の標準化に取り組む。
- (3) 薬剤
 - 人的体制を強化し、仕事の幅を増やす。
- (4) 給食
 - 行事食、嚥下食などを充実するように努める。

5 看護部

- (1) 共通
 - ① 重症心身障害児（者）の特殊性を理解した看護技術を身につける。
 - ② 超重症児の受け入れ態勢を整える。
 - ③ 看護師の確保と、新人職員の育成、定着に向けて取り組む。

(2)

1 病棟（こすもす棟）

- ① 利用者の生活水準の向上に努める。
- ② 利用者の異常の早期発見と早期対応に努める。
- ③ 施設内外の各種の研修に積極的に取り組む。

(3)

2 病棟（たんぼぼ・すみれ棟）

- ① 人工呼吸器の導入に伴い、看護師の技術の向上を図る。
- ② 看護師配置7：1に向けて看護師の確保と定着に努める。
- ③ 固定ナーシングの実現に向けて取り組む。

(4)

3 病棟

- ① 老化と重症化に応じた医療の提供と、個々の利用者に応じた援助を行う。
- ② 施設内外の研修に積極的に参加する。
- ③ 入浴を週3回実施するよう努める。

6 療育部

(1) 共通

- ① 生活支援基準を導入し、利用者主体の介護・療育をすすめ、QOLの向上に努める。
- ② 日中活動の支援を拡充する。（外気浴、散歩、音楽活動、感覚活動、余暇・サークル活動、季節の行事、コミュニケーション支援、病棟外の活動支援など）
- ③ 個別支援計画を充実するとともに保護者との面談を円滑に行う。
- ④ リーダー、サブリーダーに対する管理者・指導者研修を充実する。
- ⑤ サービス管理責任者を養成する。
- ⑥ 人権擁護、接遇の研修を行う。（介護の中の声かけ、言葉遣い、利用者の受容・応答の在り方）
- ⑦ 人材育成、新人職員指導のマニュアルを作成する。
- ⑧ 重症児療育研修、実践研究発表に積極的に取り組む。

(2)

1 病棟（こすもす棟）

小グループでの療育活動に取り組む。

(3)

2 病棟（たんぼぼ・すみれ棟）

個別のかかわりの時間を確保する。

(4)

3 病棟東（あざみ棟）

スペースを確保し、快適さを追及して、生活しやすい病棟をつ

くる。

(5)

3 病棟西（ひまわり棟）

入浴週3回の実施に向けて取り組む。

7 在宅支援センター

- ① 年間通園利用者の平均15名を達成する。

一病棟では、毎月の行事として、誕生会とお楽しみ会をおこなっています。季節の行事としては七月に夏祭り、十二月にクリスマス会があります。今回はお楽しみ会の様子を紹介しします。お楽しみ会は、東西棟ごとにおこなっており、十四時から十五時半くらいまでの間、簡単なゲーム等をして遊んだあと、ケーキとジュースをいただいています。利用者の方にとって憩いのひと時になっています。

四月の西棟のお楽しみ会では、足湯&アロママッサージでイイ気持会というのをしました。季節も良くなったので西棟の利用者全員で外に出て、アロマオイルの入ったお湯での足湯をした後、アロマオイルやベビーオイルで手足のマッサージをしました。利用者の方はお風呂が大好きな方ばかりなので、気持ちよさそうでした。ローズウッドの匂いも少量だったこともありほのかに香っている感じ。つかの間のエステ気分を味わえたのではないかと思います。風がありポカポカ陽気ではなかったのがちよつと残念で五月にもう一度やろうと思っています。

1 病棟療育サブリーダー 松下功



【平成20年度入学生】希望の家入所者

岩村愛子さん 中学部 (3病棟)
山本純奈さん 中学部 (2病棟)
高橋利佳さん 高等部 (1病棟)
森尾 円さん 高等部 (2病棟)



【平成19年度卒業生】希望の家入所者

山本純奈さん 小学部 (2病棟)
岡村勘一郎さん 高等部 (2病棟)

若草養護学校土佐希望の家分校の卒業式(三月十七日)と入学式(四月八日)が行われました。楽しい学校生活が終わる人、これから始まる人、さまざまですが、皆さんおめでとうございます。

希望の家分校
☆卒業・入学☆

みんなで歌おうコンサート
(ボランティアの日)

三月二十三日(日)、訓練室で「みんなで歌おうコンサート」が開かれました。月一回、ボランティアの日として施設内外の清掃活動などを行っています。今回は職員による音楽コンサートを開こうということになりました。

一時間の間に、「春が来た」ともだち賛歌「バラが咲いた」「好きになった人」「幸せなら手をたたこう」「別れても好きな人」「夢の中へ」など十数曲。古い歌、新しい歌を取り混ぜて、利用者の皆さん、保護者の皆さん、職員みんなで大合唱しました。



みんなで大合唱♪



平成十九年度
実践報告会



毎年行われている各病棟からの実践報告

三月十八日(火)、在宅支援センター多目的ホールにて、平成十九年度実践報告会が行われ、施設長はじめ、多数の職員が集まりました。
発表内容は、摂食・嚥下機能評価について、誤嚥防止に向けて、温冷配膳車導入について、笑顔に向けてのお楽しみ会の取組み、在宅支援センター送迎時の対応と工夫など、各病棟の取り組みの紹介や、課題に向けた活動などでした。



山崎勲元理事長の講演



山崎元理事長と祥子夫人

四月十五日(火)、施設内研修として、山崎勲元理事長の講演が行われました。昭和四十一年の「土佐希望の家」創設、昭和四十五年、重症心身障害児施設としての開設。創設当時の思い出や苦労などを職員に語っていただきました。

創設から三十年以上が過ぎましたが、改めて、山崎勲元理事長の創設当時の想いを、ひとりひとりの職員が理解し、受け継いでいくことが大事だと感じました。